



えがおいっぱい！

よつかいどうしりつよしおかしょうがつこう こうちようしつ
四街道市立吉岡小学校 校長室だより
NO. 61 R7.12.1 (月) <こどもばん>

<感動をありがとう>

「緊張する」「校長先生、応援していてね！」そうって走り始めたみんな。表情を見ると、みんな一生懸命さが伝わってきたよ。そして走り終わった後、「少し記録が伸びた。がんばってよかった！」「めちゃくちゃ記録が伸びました」走り終わった瞬間に「やった。新記録！」「先生あがったよ」「初めて4周いけた！」「マラソン期間中、インフルエンザや学級閉鎖で間が開いたとき、ちょっと下がっちゃったけど、その後今日までがんばって記録を伸ばせた」2年生も、3年生も、4年生も、5年生もみんなそう話してくれました。記録が上がった子は走り終わった後に、最高の笑顔を見せてくれました。そういう表情が見られるのもうれしい。5年生は、走り終わったら、はあはあいいながらしゃがみこんで人もいました。それぐらい力を出し切ったんだね。「ちょっと落ちた。」と悔しそうに話す子もいましたが、一生懸命走っているのであれば、それが一番大事なことです。6年生は1年生に声をかけたり、転んでしまった子に近寄って手を差し伸べたりしていました。きっと6年生に見守られて、1年生は初めてのマラソン記録会ががんばれたことでしょう。走り終わった後に「3年生の応援のおかげでがんばれた」そう話す4年生もいました。みんなの応援が仲間の力になるんだね。マラソン週間の3週間で、みんな走る力や友達を応援する心など、いろいろ大切なことが学べたと校長先生は思っています。



スタート前の緊張の瞬間



6年生を一生懸命応援する1年生